

夏到来！今年もジカ熱に注意しましょう

感染制御部

◎ジカ熱とは？

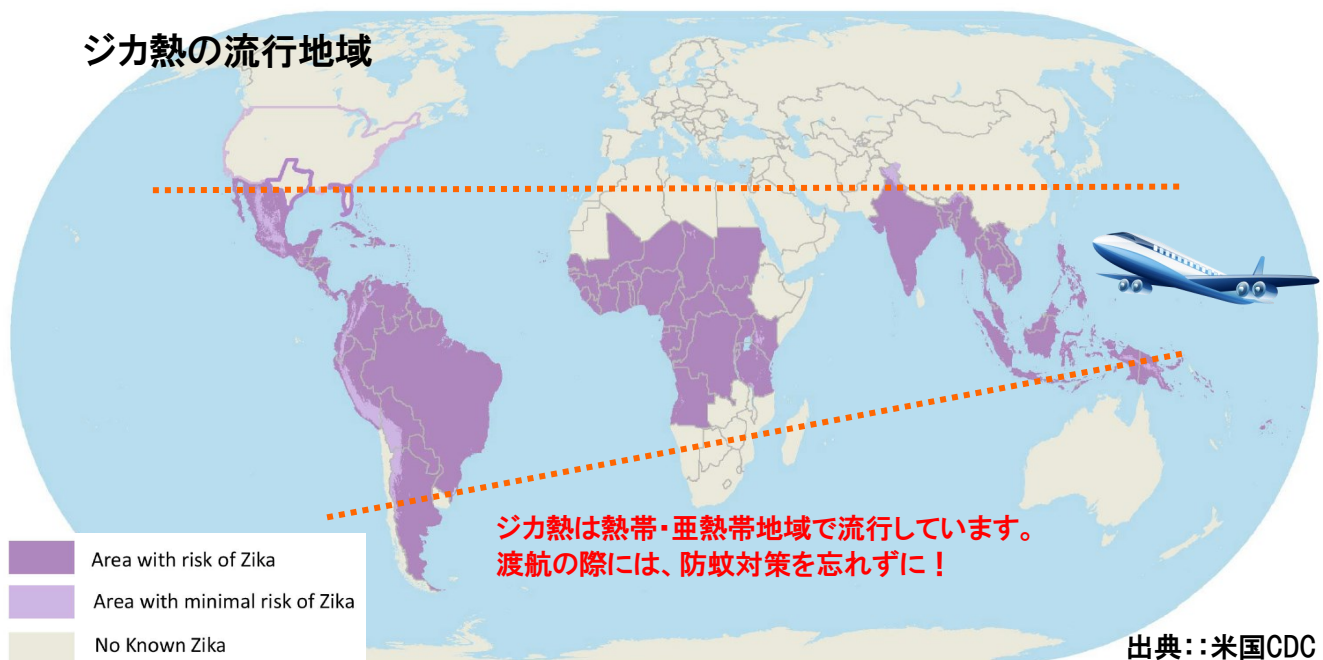
ネッタイシマカやヒトスジシマカなどのヤブカ属が媒介するジカウイルス (Zika virus) に感染することで発症します。もともと1947年にウガンダで見つかったウイルスで、現在は熱帯から亜熱帯地域を中心に様々な地域から感染事例が報告されています。



◎どんな症状が出るの？

通常は、蚊に刺された後、2-7日間の潜伏期の後に発熱・頭痛・皮疹・関節痛・筋肉痛などで発症しますが、多くは5日間の有熱期間の後に自然経過で改善する良性疾患です。

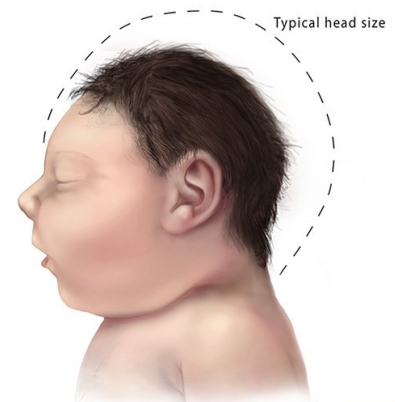
ジカ熱の流行地域



出典：：米国CDC

◎妊娠初期には十分に注意してください

重症化することがないジカ熱が、これほどまで社会に認知されるようになったのは、**妊婦感染に伴う胎児の小頭症**、です。妊娠初期にジカウイルスに感染することで、小頭症をはじめとした様々な先天性の中枢神経機能異常が出現することが報告されています。



Baby with Microcephaly



◎海外渡航時には万全の防蚊対策を！

現時点では国内発症のジカ熱は報告されておらず、国内で生活する限りは感染リスクはゼロに近いと考えられますが、上記の流行地域に渡航する際には注意が必要です。まずは、**妊娠初期にはジカ熱流行地域に渡航しない**、ことが最も重要です。もし**渡航する際には十分な防蚊対策を行う**ことが推奨されています。防蚊対策は、マラリア・デング熱などの他の蚊媒介性ウイルス感染症の予防にもつながりますので、海外旅行時には万全の防蚊対策を行きましょう。